

イベントのお知らせ

☆おはなし会（毎月第2・第4土曜日 11:00～）

会場：吾妻まちづくりセンター 和室

対象：3歳～

内容：読み聞かせ、すばなし、手遊び、工作等

★12月14日はクリスマスおはなし会！

サンタさんも遊びに来るかも？



☆親子おはなし会（毎月第3金曜日 10:00～）

会場：吾妻まちづくりセンター 和室

対象：乳幼児と保護者

内容：乳幼児向けの読み聞かせ、手遊び等



年末年始のお知らせ

☆年末年始の休館のお知らせ

12月29日(日)～1月4日(土)まで休館いたします。

※年末年始の休館に伴い、

12月15日(日)～12月28日(土)の間は

貸出期限を3週間に変更いたします。



☆開館時間変更のお知らせ

1月13日(月・祝)

「所沢市二十歳のつどい」開催に伴い、

吾妻分館・新所沢分館は

13:00からの開館となります。



吾妻分館図書館だより

No.70 2024年12月・2025年1月号

▽分館長より

吾妻まちづくりセンターの周りでサザンカの花が咲いているのを見つけました。

サザンカは秋の終わりから初冬にかけての寒い時期に咲く花で、童謡「たきび」の歌詞にも出てくることで有名です。咲いているのを見かけると、季節を感じて、ついこの童謡を口ずさみたくなります。

サザンカには「ひたむきな愛」・「困難に打ち勝つ」という花言葉があるそうです。冬の寒さに耐えながらも、美しく咲くサザンカにぴったりの花言葉ですね。

まだまだ寒い日が続きますが、みなさんもサザンカのように寒さに負けずお過ごしください。



〈内容〉

▽分館長より

▽イベントの報告

▽図書館の豆知識

▽イベントのお知らせ

▽年末年始のお知らせ



所沢市立図書館
ホームページはこちら

QRコードはデンソーウェーブの
登録商標です

イベントの報告 11月2日～3日 図書館まつり

11月2日(土)と3日(日)に図書館まつりを開催しました。
吾妻地区文化祭と同日に開催したため、多くの方がご来館くださいました。
その時の様子を少しだけご紹介いたします。

★リサイクル本市

図書館で不要になった本をリサイクル本として配布するイベントを行いました。
普段からリサイクル本は配布しておりますが、図書館まつりの時は冊数も多く掘り出し物もあるので、毎年人気のイベントとなっています。

★かshだしてつづき じぶんでピッピッ!

お子さまの来館者に自分が借りる本の貸出体験をしてもらいました。
このイベントは年に2回行っていますが、楽しみにしてくれているお子さまもおり、毎回好評なイベントです。バーコードリーダーを持ちピッピッと一生懸命にバーコードを読み込む姿はとともかわいらしく、スタッフも思わず微笑んでしまいました。

★展示「みんなのおすすめ本が知りたい! -吾妻分館利用者のおすすめ本-」

利用者からおすすめの本を紹介してもらい、紹介文と一緒に本を展示しました。
利用者みなさんは色々な本を読まれているので、紹介して下さる本も小説のみならず幅広い分野の本を紹介してくださいました。館内を訪れる方にも好評なイベントとなりました。

★ミニ工作会「かさぶくろロケット」

かさぶくろと紙テープと画用紙で作るロケットの工作会。簡単に出来るのでたくさんのお子さんが参加してくれました。



★スペシャルおはなし会

大型絵本・紙芝居など、いつもより豪華なプログラムで読み聞かせを行いました。
たくさんのお子さんが参加してくれて、楽しい会となりました。



吾妻分館でよく借りられる本

～ カウンターのおすすめ本 ～

吾妻分館のカウンターにおすすめの本が置いてあることはご存じですか？映像化され話題の本、メディアで紹介された本、予約が多数入っていたけれど予約が落ち着いた本などを中心に、スタッフのおすすめ本を置いてあります。そんな中でも最近置くとすぐに借りられる人気の本を紹介したいと思います。



「職業日記シリーズ」 三五館シンシャ

実際に働いた経験のある人が実話に基づいてお仕事を語るシリーズ。

2019年に出版されベストセラーになった『交通誘導員ヨレヨレ日記』を皮切りに現在20作品出版されています。その業界ならではの話がリアルに描かれ、内情を知ると外側から見た仕事の印象がガラッと変わる職業もあります。

シリーズを一冊読むと他の職業の本も読みたくなってしまい、いつの間にかシリーズ全てを読んでしまう方も……。

どの本もとても読みやすく、軽く読めるのが人気の理由だと思います。

今回は20作品あるシリーズの中から、2冊ご紹介いたします。

『バスドライバーのろのろ日記』

須畑寅夫/著 2023年

普段お世話になっているバスの運転手さん、乗客の命を預かり当然楽しい仕事ではないとは思っていたけれど、こんなに過酷な状況で働いているの？とびっくり！読後は思わず誰かに話をしたくなるかも。

『ディズニーキャストざわざわ日記』

笠原一郎/著 2022年

「夢の国で働くなんて楽しそう！」57歳、大手飲料メーカーを早期退職して転職してみたものの、待ち受けていたのは思っていたのと随分と違う世界だった。第二の人生の選択って難しい。